

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第5巻第13号

第13週(3月28日～4月3日)

発行年月日:平成17年(2005年)4月8日

発行:滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (13週)	累積報告数		平成16年報告数	
			滋賀 (13週)	全国 (13週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	1	3	164	9	576
	腸チフス	0	0	16	2	66
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	174	21	3,640
4類感染症	E型肝炎 ^{(*)2}	0	0	^{(*)2} 11	1	34
	オウム病	0	0	15	1	39
	デング熱	0	1	7	2	45
	マラリア	0	0	16	2	73
5類感染症	アメーバ赤痢	0	1	160	8	580
	ウイルス性肝炎	0	0	81	5	299
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	21	1	53
	後天性免疫不全症候群	0	0	265	6	1,119
	ジアルジア症	0	0	13	2	85
	梅毒	0	0	119	4	516
	破傷風	0	0	16	2	100
急性脳炎	0	0	^{(*)2} 57	1	164	

*1:平成16年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:平成17年第11週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

2) 定点把握の対象となる5類感染症

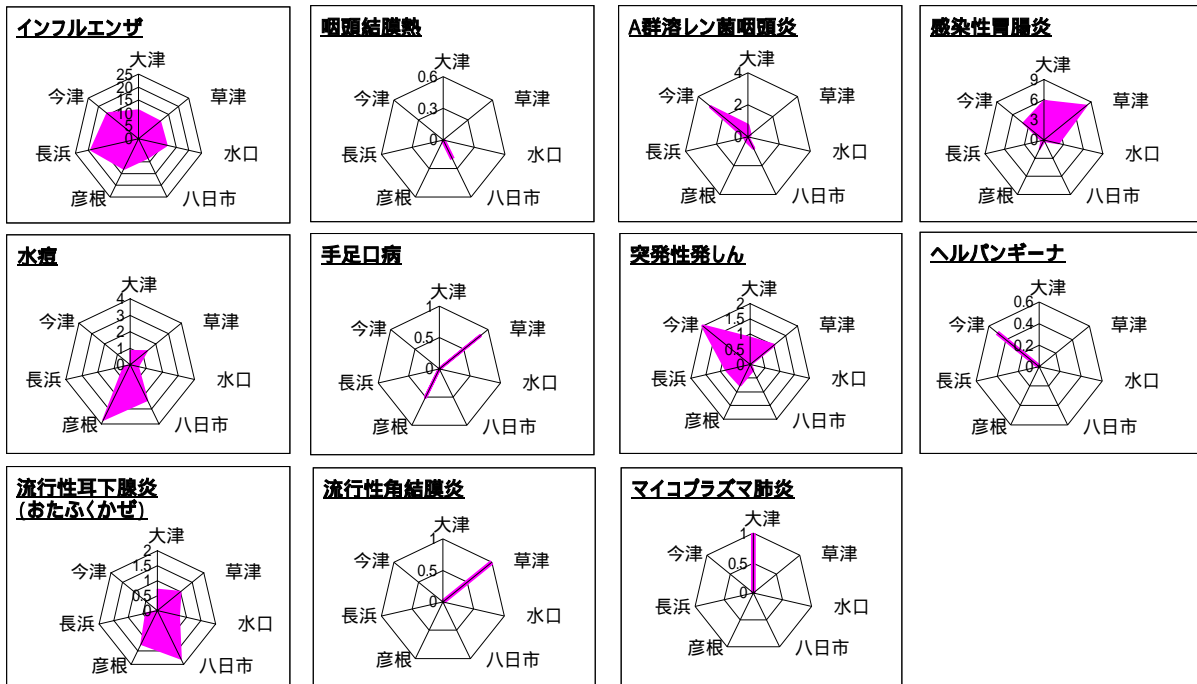
(1) 疾病別・週別発生状況(第8～13週、2/21～4/3)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	前週より増加						前週と同じ		前週より減少		
	8週 (2/21～)	9週 (2/28～)	10週 (3/7～)	11週 (3/14～)	12週 (3/21～)	13週 (3/28～)	9	10	11	12	13
インフルエンザ	46.10	49.16	45.49	28.06	23.02	11.57					
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0					
咽頭結膜熱	0	0	0.06	0	0.12	0.03					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.82	1.00	0.58	0.36	0.45	0.55					
感染性胃腸炎	4.21	4.03	4.27	5.33	3.21	3.52					
水痘	1.42	2.09	1.39	1.64	1.24	1.36					
手足口病	0.09	0.03	0.06	0	0.15	0.21					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0.12	0.03	0.09	0					
突発性発しん	0.42	0.36	0.64	0.39	0.67	0.73					
百日咳	0	0	0	0	0	0					
風しん(三日はしか)	0.06	0	0.06	0	0	0					
ヘルパンギーナ	0	0	0.03	0	0.03	0.03					
麻しん(成人麻しんを除く)	0.03	0	0	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.45	0.76	0.82	0.61	0.82	0.91					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.57	0.14	0.29	0.29	0.43	0.14					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0.29	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0.14	0.14	0.14	0	0	0.14					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第13週、3/28～4/3)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	11.57	10.73	10.50	10.86	8.00	12.57	18.60	15.33	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.55	0.71	0.17	0	0.80	0.25	0.20	3.00	
感染性胃腸炎	3.52	5.86	8.17	2.25	0.20	1.50	0.40	4.00	
水痘	1.36	0.86	1.33	0.50	2.40	3.75	0.40	0	
手足口病	0.21	0	0.83	0	0	0.50	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.73	0.86	1.00	0	0.20	0.75	0.80	2.00	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0	0	0	0	0	0	0.50	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.91	0.71	1.00	0.75	1.80	1.25	0.40	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.14	0	1.00	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。感染性胃腸炎については八日市および長浜以外で先週より増加し、特に大津および草津では先週に引き続き多くなっています。また、水痘については今津以外で発生しており、特に大津および草津で先週よりかなり増加し、八日市および彦根では先週に引き続き多くなっています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

* 感染症法：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

* 疾患により定点数は異なります。

3) 今週のトピックス

インフルエンザの発生は順調に減少 海外渡航者から細菌性赤痢患者の発生

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(3月21日～3月27日)の報告数よりさらに少なくなっており、インフルエンザについては4週連続して減少しています。今週、増加を示した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、水痘、手足口病、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフを参照)。

また、全数把握の2類感染症である細菌性赤痢の届出がありました。患者はトルコ旅行中に腹痛等の症状があったため、帰国時に関西空港検疫所で検査を実施したところ赤痢菌(フレキシネル2型)が確認されました。

インフルエンザについては、先週の定点当たり患者数23.02よりさらに減少し11.57となっています。八日市保健所管内をのぞいて引き続き「感染症の流行の警報・注意報システム(注)」による**流行発生警報**が出されています。

流行発生警報は定点当たり患者数が30人以上となった時に出されますが、一度警報が出されると定点当たり患者数が10人以下になるまで継続して出されます。警報が出されている各保健所管内の定点当たり患者数は大津が10.73、草津が10.50、水口が10.86、彦根が12.57、長浜が18.60、今津が15.33となっています。

* 詳細については警報・注意報発生システムとは(国立感染症研究所感染症情報センター)参照
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-ho/guide04.html>

A群溶レン菌咽頭炎については、先週の定点当たり患者数0.45よりやや増加し0.55となっていますが、今津保健所管内においては3.00と非常に多くなっています。

手足口病については、先週の定点当たり患者数0.15よりやや増加し0.21となっており、草津および彦根保健所管内から報告されています。また、昨年の同時期の定点当たり患者数0.03よりかなり多くなっています。

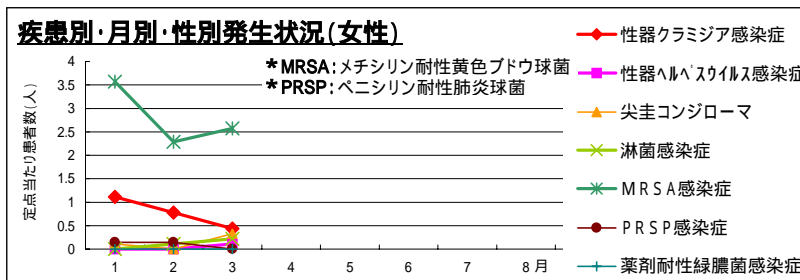
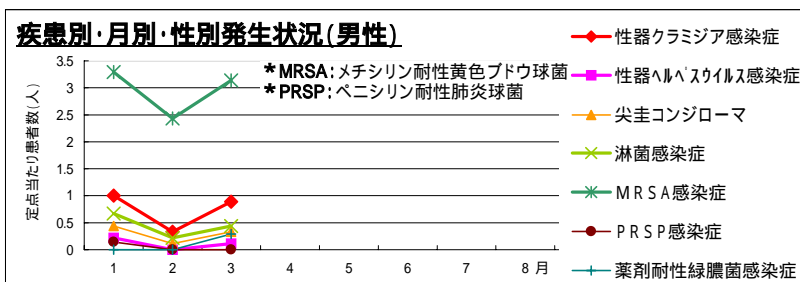
流行性耳下腺炎については、先週の定点当たり患者数0.82よりやや増加し0.91となっています。先週、特に多かった彦根保健所管内における定点当たり患者数は4.50から1.25に減少していますが、今週は八日市保健所管内で1.80と多くなっています。

滋賀県における細菌性赤痢患者の発生状況(平成7年～平成17年)

暦年	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
患者発生数(人)	6	5	7	8	10	9	4	6	7	9	3

* 平成17年の患者発生数は平成17年4月2日現在の届出数

4) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成17年1月～3月)

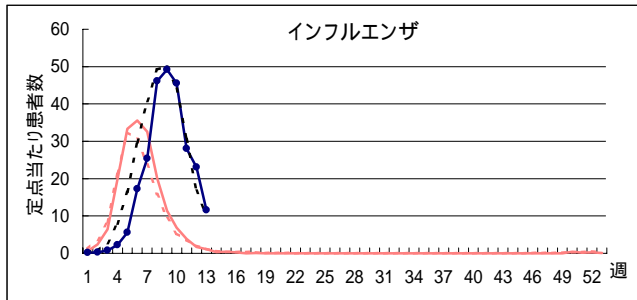


性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、PRSP感染症で減少していますがその他の疾患では増加しています(性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況のグラフ参照)。

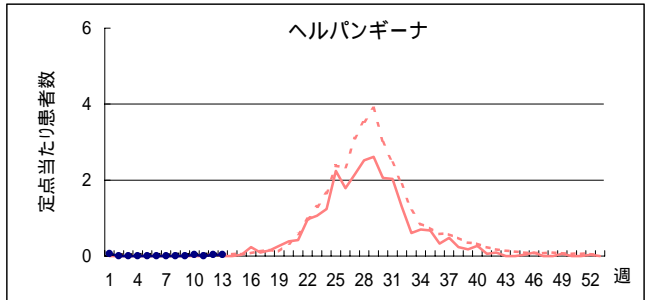
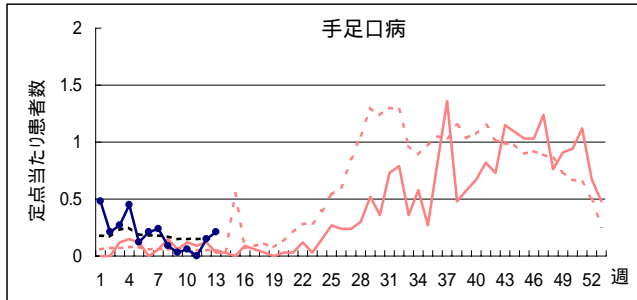
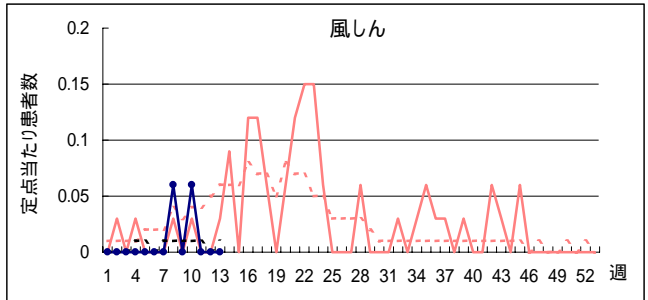
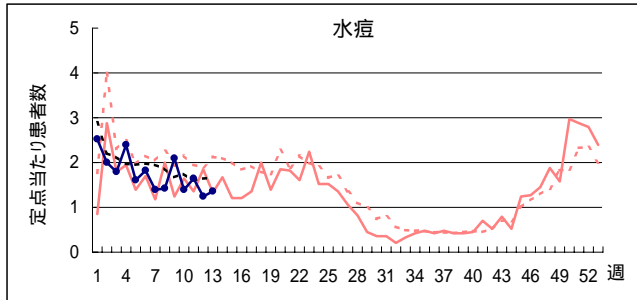
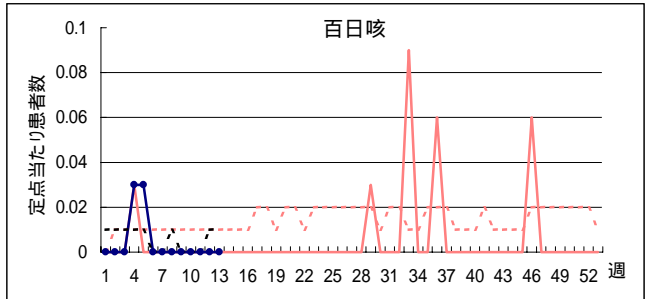
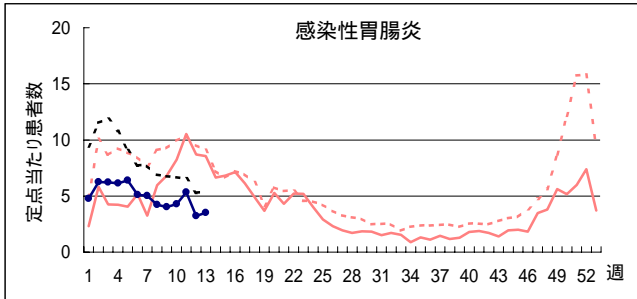
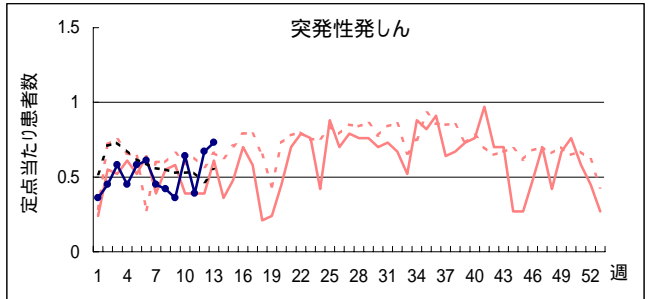
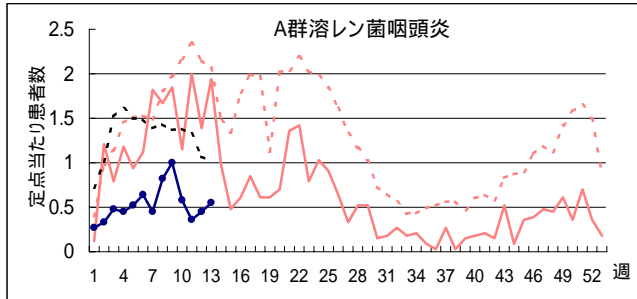
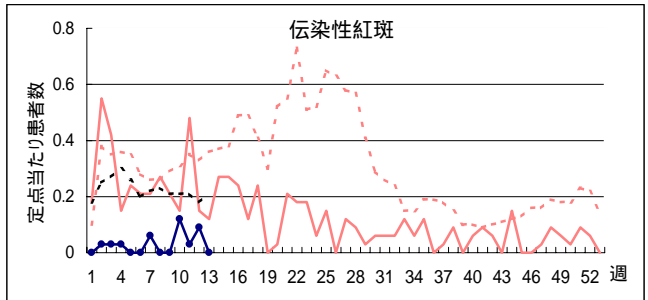
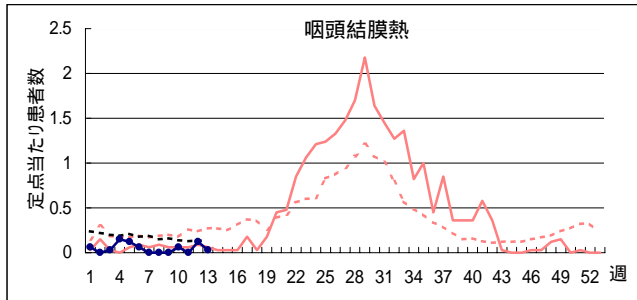
各疾患の月別・性別発生状況はグラフのとおりです。性器クラミジア感染症については女性で減少していますが、男性では増加しています。また、年齢別発生状況としては15～19歳および25～29歳では男女ともに報告されていますが、35～39歳、40～44歳および45～49歳においては男性のみから報告されています。

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**
(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第13週、H17.1.3～H17.4.3)

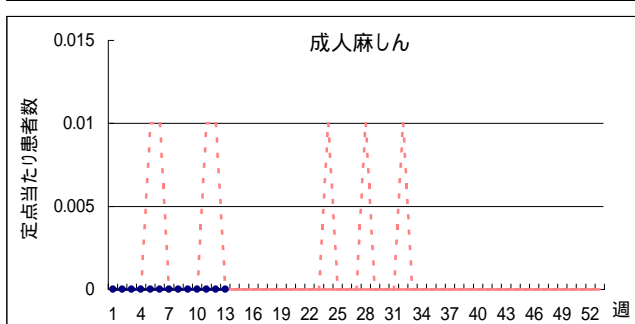
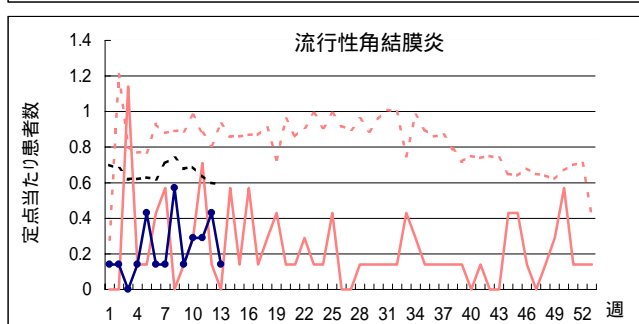
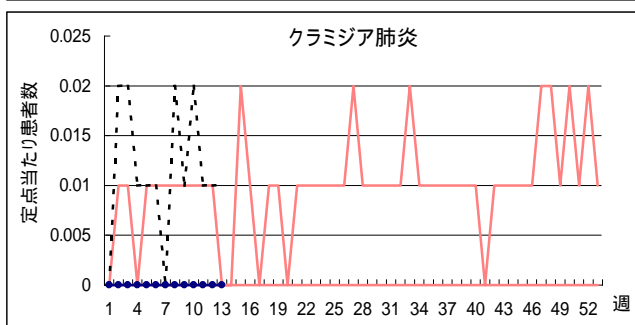
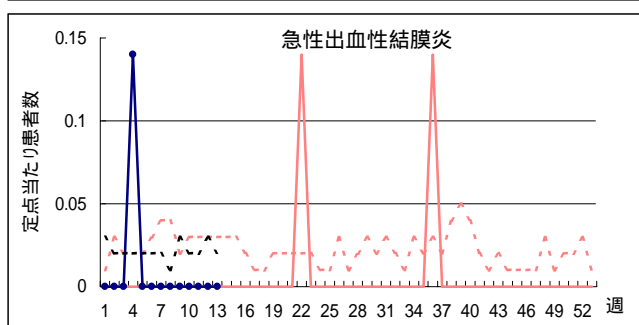
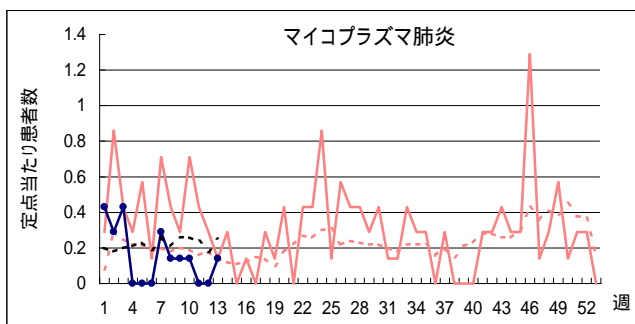
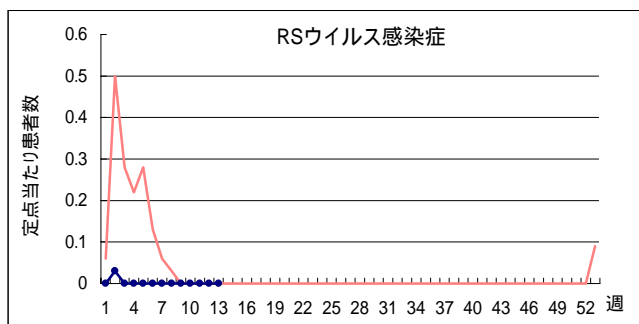
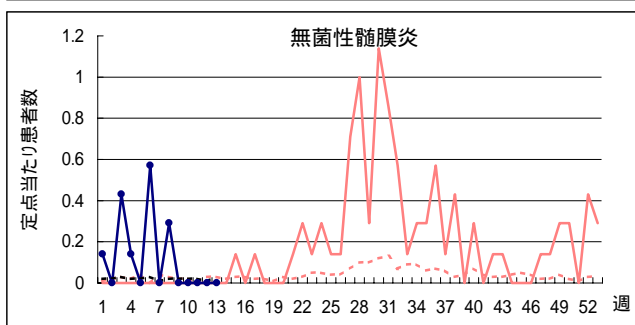
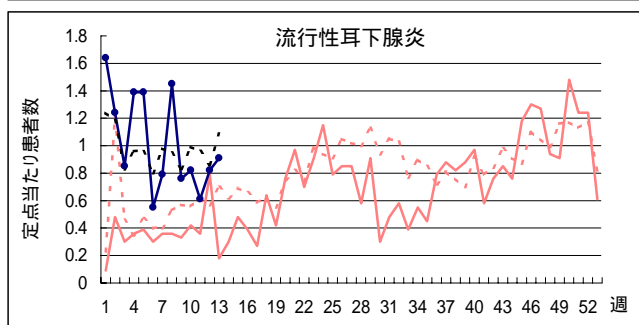
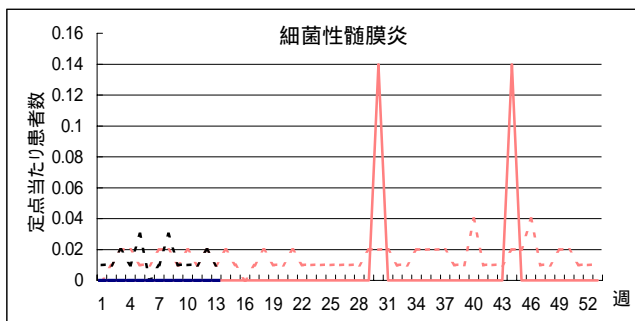
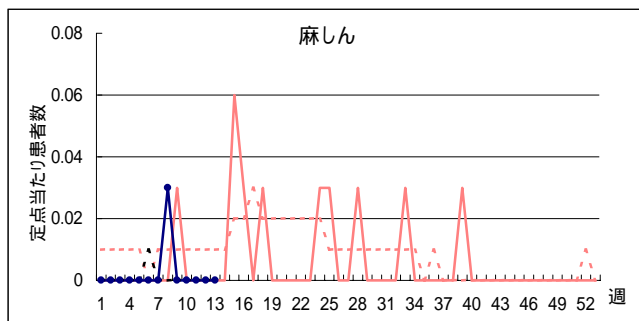


H16 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H17 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted blue line with dots)



疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第13週、H17.1.3～H17.4.3)

H16 〔 滋賀 ———— 全国 〕
 H17 〔 滋賀 ●——● 全国 〕

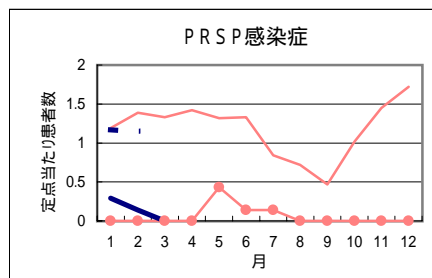
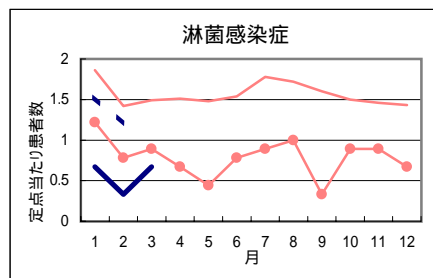
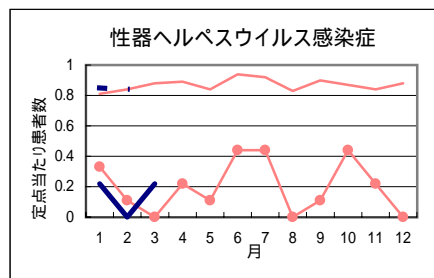
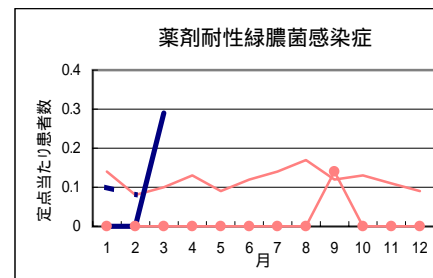
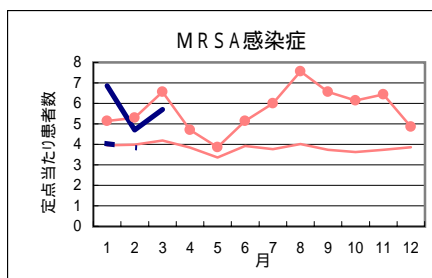
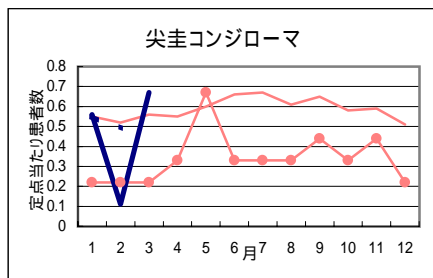
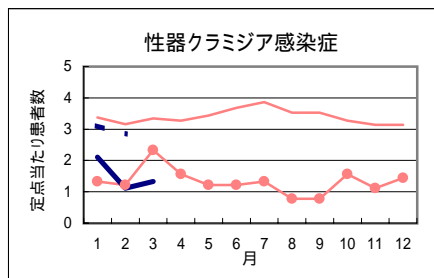


性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(滋賀県)

3月報 (集計期間:平成17年1月~3月)

戻る

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	罹患数	19	10	12										41
	定点当たり	2.11	1.11	1.33										1.52
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	2	0	2										4
	定点当たり	0.22	0	0.22										0.15
尖圭コンジローマ	罹患数	5	1	6										12
	定点当たり	0.56	0.11	0.67										0.45
淋菌感染症	罹患数	6	3	6										15
	定点当たり	0.67	0.33	0.67										0.56
MRSA感染症	罹患数	48	33	40										121
	定点当たり	6.86	4.71	5.71										5.76
PRSP感染症	罹患数	2	1	0										3
	定点当たり	0.29	0.14	0										0.14
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	2										2
	定点当たり	0	0	0.29										0



H16 { 滋賀 ●●●●●
 { 全国 ————
 H17 { 滋賀 ————
 { 全国 ●●●●●

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
 PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌